

整備機器

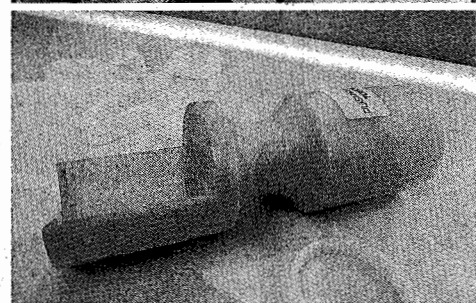
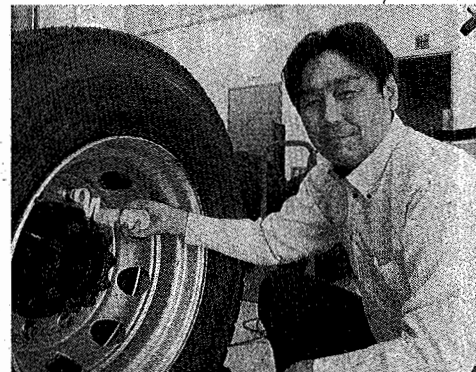
新商品

東洋精器工業(株)

インジケータ-着脱ツール

「PU-SH&LL33」

(プッシュル)



④「プッシュル」を手にする青木氏
⑤「プッシュル」左側ではインジケータ-を取り外すことができ、右側は装着時に使用する

最近では「インジケータ-」の着脱に時間が掛かって困ったというタイヤ販売店の声も聞くが、販売企画部

東洋精器工業はこのほど、ホイールナットメーカー(インジケータ-)の着脱ツール「PU-SH&LL」(プッシュル)33を開発した。大型車の車輪脱落事故防止に向けた取り組みの一つとしてインジケータ-を装着する車両が増える中、新商品は作業者から届いた困りごとに応えてデザインしたという。その開発背景や商品特徴を販売企画部の部長である太田正彦専務取締役と、同部技術部長兼横浜支店長の青木茂雄氏に聞いた。

近年、大型車の車輪 動車の点検及び整備に脱落事故件数が増加す 関する手引き」の一部の中、国土交通省は「自 を改正し、4月1日か

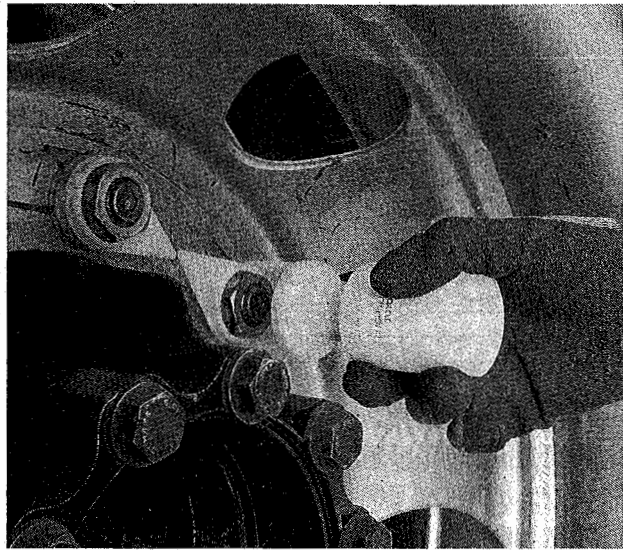
ら施行した。ナットの緩みの点検方法については、点検ハンマーを利用した従来の手順に加え、ホイールナットメーカーなどを活用した新たな点検方法を導入している。

「プッシュル」ではブライヤーと全く異なる形状を採用し、より容易な作業の実現を目指したという。開発時には、1つのツール単体で「チェックリンク」と「チェックポイント」それぞれに対応することを目標にした。両インジケータ-のリング部分が異なる形状をしているため、従来、1種類のブライヤーだけでは対応しづらいケースなどもあったためだ。

このホイールナットメーカーは、ホイールナットに装着しておくことでナットの緩みが目視できるインジケータ-のこと。2つのナットに装着する連結式の「チェックリンク」や、1つとつこのナットに取り付ける「チェックポイント」などが流通している。販売企画部部長の太田正彦専務取締役は「様々なお客様から『インジケータ-は外すも装着するも大変』と聞いていた」と市場にはインジケータ-の取り外し用ブライヤ-などもあるが、

「チェックリンク」と「チェックポイント」それぞれにも利用できるような開発し、完成した「プッシュル」は、両端を使い分けることでインジケータ-の装着作業と取り外し作業のどちらも行なうことが可能になった。装着時には「プッシュル」でナットにインジケータ-を押し込むことができ、取り外

容易にインジケータ-を引き抜くことが可能



昨年からは、交省が主導した「大型車の車輪脱落事故防止キャンペーン」では、連結式インジケータ-の取り外し用ブライヤ-などもあるが、

インジケータ-の着脱を容易に

なお、同製品は6月上旬に上市する計画。価格などの詳細は営業担当者まで。

(増田 優紀)